



4/14 町の防災士が結束 白鷹町防災士ネットワークを設立

町内に在住または町内に勤務する防災士の資格を有する方々で構成された「白鷹町防災士ネットワーク」が設立され、この日、設立式が開催されました。

防災士とは、“自助”“共助”“協働”を原則として、社会のさまざまな立場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な知識と一定の技能を習得したことを日本防災士機構が認証した方です。

異常気象が頻発し、近年本町においても自然災害が発生していることを踏まえ、防災士の方々が結束し、地域の防災力の向上を目指します。



▲佐藤町長（左）より活動備品が手渡されました。

4/27 桃色の襷に思いを込めて 第68回山形県縦断駅伝競走大会

第68回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日の3日間で開催され、長井・西置賜チームの選手たちは桃色の襷に思いを込めて走りました。

今大会には、白鷹町から7人の選手が出走。夏日の気温の中で、懸命に襷をつなぐランナーの姿に地元からは大声援が送られました。また、主将としてチームに貢献した堀内郁哉選手（荒砥）が、長井・西置賜チーム最高殊勲選手に輝きました。

——《出走・エントリーされた白鷹出身・在住者》——

- ・渡部功将選手（山口）
- ・堀内郁哉選手（荒砥）
- ・藤原優希選手（荒砥）
- ・後藤光雅選手（荒砥）
- ・菅陽翔選手（鮎貝）
- ・黒澤叶選手（鮎貝）
- ・竹田圭吾選手（荒砥）
- ・佐藤銀河選手（十王）※エントリー



▲最終日、南陽一上山区間での藤原優希選手の激走

4/30 日本一の栄冠を手にし、表敬訪問 第32回技能グランプリで金賞獲得

全国の技能士が日本一を競う第32回技能グランプリにおいて、町内事業者である菅原内装の菅原智宏さんが壁装職種で最高賞の金賞を獲得。この日、受賞報告のため白鷹町役場を訪問しました。

第30回大会に続く2回目の出場となった今大会。「前回出場大会では敢闘賞という結果で悔しい思いもしました。そこで、今回は2カ月以上前から訓練を重ね、金賞を獲得することができました。非常に嬉しく思いますし、ご指導いただいた山形県表具内装組合連合会の皆さまには感謝の思いでいっぱいです。」と話しました。



▲賞状を手にする菅原智宏さん



4/5

97名が夢と希望を胸に抱いて 白鷹中学校入学式

この日、97名の生徒が白鷹中学校に入学し保護者の皆さんが待ちに待った晴れ姿を披露しました。

緊張した面持ちの新入生を前に、石塚良文校長は、「中学校に“失敗はありません”。たくさんの方にチャレンジして、仲間とともに充実した生活を送りましょう。」と激励の言葉を贈り、生徒会長の菅康介くんからは、良き学校生活を送るためのアドバイスが伝えられました。

入学式後、さっそく新しい友達ができた生徒もあり、新たな仲間と新しい生活に期待を寄せている様子が見られました。

▶堂々とした姿で入場する新入生
▼未来に向かって大きく羽ばたけ！



4/12

農林業、観光、そして防災の強化へ 国土防災技術(株)と包括連携協定締結

白鷹町では、このたび国土防災技術株式会社（相川裕司代表取締役社長）と農林業、観光および防災分野での包括的な連携を図る協定を締結しました。

これは、①地域の産業に関すること②地域の活性化に関すること③地域防災および災害発生時の技術協力に関することの3つを柱とした協定であり、相川代表取締役社長は、「わが社の技術を存分に発揮し、白鷹町のさらなる発展と防災にむけて尽力したい。」と力強く述べられました。

今後、白鷹町で多く栽培されている紅花の栽培指導や、長年の課題であった白鷹スキー場の緑化に向けた取組などにもご協力いただきます。



▲熱く握手を交わす相川代表取締役社長（左）と佐藤町長（右）

4/13

仲間とともに活躍を誓う 白鷹町スポーツ少年団合同結団式

白鷹町スポーツ少年団合同結団式が鮎貝小学校体育館にて5年ぶりに開催されました。

今年度の団員数は、15団体 351名。団員を代表して白鷹ジュニアアスリートスポーツ少年団の紺野慈月くんが誓いのことばを宣言。菅原透本部長は「一生懸命努力すること、仲間と仲良く高め合うこと、技術だけでなく心を磨くことを大切にしてください。」と全団員にメッセージを贈りました。

その後、初の取組となるコンディショニングテストを実施。ケガの予防につなげるため、それぞれ自分の身体のコンディションの確認を行いました。



◀コンディショニングテストの様子
▼力強く宣誓を行いました。

